

鹿児島県の推計人口

人口及び世帯数の推移

(昭和10年～平成30年)

年 齢 別 人 口

(平成30年10月1日現在)



鹿児島県企画部統計課

利 用 者 の た め に

1. 利 用 上 の 注 意

- (1) この資料は、昭和10年から平成30年までの各市町村の男女別人口・世帯数を、現在の境界に組み替えたものである。
- (2) 市町村の合併・分割・名称変更等は、総務省統計局刊行の各年編国勢調査報告及び県市町村課の資料による。
- (3) 「第3表 市町村別男女別人口及び世帯数の推移」において、昭和10年、25年、30年、35年、40年、45年、50年、55年、60年、平成2年、7年、12年、17年、22年、27年は、国勢調査の結果である。
- (4) 「第3表」以外の各年人口及び世帯数は、人口移動調査（県毎月推計人口、県年齢別人口）による。
また、各年人口の県計については、平成元年までは総務省 統計局発表の推計人口によるが、平成3年以降は県毎月推計人口による。
- (5) 組み替えの人口は、総務省統計局刊行の各年編国勢調査報告の「市町村の廃置分合・境界変更・名称変更一覧表」における合併・分割時の人口の割合により、往時に遡及し所属人口を推計したものである。
- (6) 「第5表 市町村別、年齢（各歳）別、男女別推計人口」の推計にあたっては、国勢調査結果を基に、住民基本台帳による増減数を各歳別に加減して推計しているが、居住実態に基づく国勢調査と届出に基づく住民基本台帳との人口の把握方法に違いがあることで、死亡者及び転出者が、届出を受けた市町村の推計人口に含まれていない場合（住民票がある市町村に常住しておらず、国勢調査時に別の市町村で調査された人について、死亡又は転出の届出が行われた場合など）に、一部の年齢にマイナスが生じることがある。

2. 用 語 の 説 明

- (1) 人 口 国勢調査による人口を基礎に、出生・死亡・転入・転出数を加減することにより推計している。ただし、国勢調査が行われた年はその数を用いている。
なお、よく比較される人口として住民基本台帳人口があるが、これは国勢調査人口を基準としない登録人口であり、推計人口とは差異がある。
- (2) (総)世帯数 国勢調査による世帯数を基礎に、世帯増減数を加減し推計している。人口と同様、国勢調査が行われた年はその数値を用いている。
- (3) 一般世帯 住居と生計を共にしている人の集まり、一戸を構えて住んでいる単身者、間借り・下宿などの単身者、会社などの独身寮の単身者をいい、学校の寮、病院の入院者、社会施設入所者など施設等の世帯を除く。

- (4) 人口性比 女性100人に対する男性の数
- (5) 自然動態 出生, 死亡
戸籍法により届出のあった者及び出入国管理及び難民認定法により出生の登録申請のあった者若しくは死亡により在留カードの返納のあった者
- (6) 社会動態 転入, 転出
住民基本台帳法により届出のあった者及び職権により住民票の記載又は消除等を行った者
- (7) 従属人口指数 生産年齢人口(15~64歳人口)に対する従属人口(15歳未満人口及び65歳以上人口)の比率
- (8) 年少人口指数 生産年齢人口(15~64歳人口)に対する年少人口(15歳未満人口)の比率
- (9) 老年人口指数 生産年齢人口(15~64歳人口)に対する老年人口(65歳以上人口)の比率
- (10) 老年化指数 年少人口(15歳未満人口)に対する老年人口(65歳以上人口)の比率
- (11) 平均年齢
- $$\text{平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{10月1日現在の人口}} + 0.5$$
- (0.5を加える理由は, 同年生まれの人の生まれ月を考慮して算出するためです。)
- (12) 年齢中位数 人口を年齢順に並べたとき, その中央で全人口を二等分する境界点にある年齢
- (13) その他(記号等)
- ・「-」 該当数値なし, 但し, 数値の前に付く場合はマイナス(減少)を表す。
 - ・「空欄」 該当数値なし
 - ・「0」 単位未満(統計表の中には増減のないものも示す場合等もある)

目 次

人口ピラミッド	-----	1
---------	-------	---

結果の概要

I 県人口

1 人口の動向	-----	3
---------	-------	---

2 年齢別人口	-----	7
---------	-------	---

II 市町村別人口

1 人口	-----	10
------	-------	----

2 年齢別人口	-----	13
---------	-------	----

III 世帯	-----	16
--------	-------	----

IV 外国人	-----	17
--------	-------	----

統計表

第1表 市町村別，男女別人口及び世帯数，人口動態	-----	21
--------------------------	-------	----

(平成30年10月1日現在)

第2表 鹿児島県自然動態・社会動態の推移		
(昭和46年～平成30年)	-----	22

第3表 市町村別，男女別人口及び世帯数の推移		
(昭和10年～平成30年)	-----	23

第4表 鹿児島県年齢別推計人口及び人口動態		
(平成30年10月1日現在)	-----	77

第5表 市町村別，年齢（各歳）別，男女別推計人口		
(平成30年10月1日現在)	-----	79

第6表 市町村別，年齢3区分別人口（平成30年10月1日現在）	-----	115
---------------------------------	-------	-----

参 考 表（国勢調査結果）

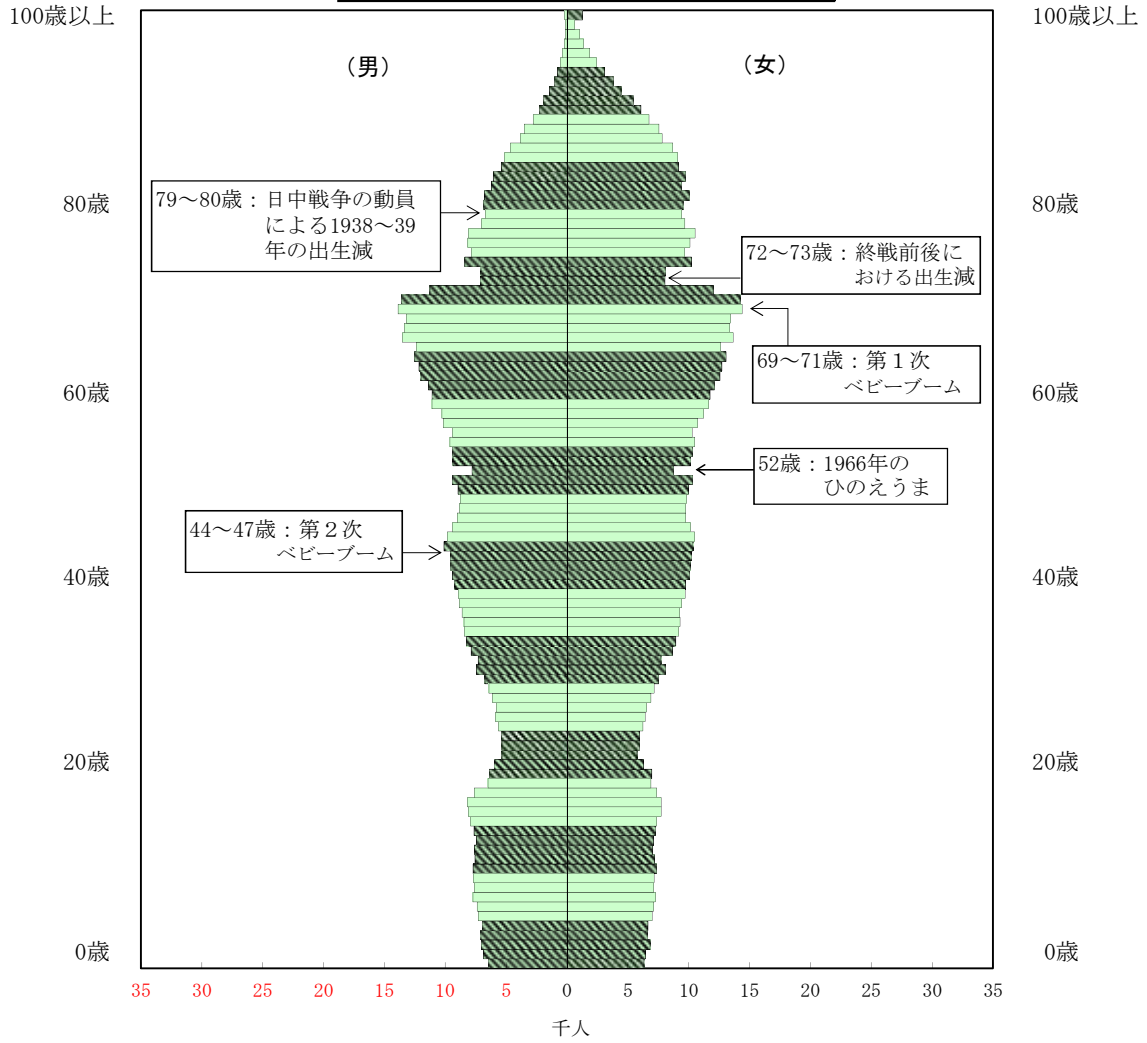
参考表 1 市町村別人口の推移（大正9年～平成27年） ----- 1 1 8

参考表 2 市町村別，年齢3区分別人口及び割合の推移
（大正9年～平成27年） ----- 1 2 1

参考表 3 平成27年都道府県別人口（男女別人口，年齢3区分別人口
及び割合，世帯数，従属人口指数，年少人口指数，老年人口
指数，老年化指数，平均年齢及び年齢中位数） ---- 1 3 5

参考表 4 鹿児島県及び全国総人口・年齢3区分別人口割合の推移
（大正9年～平成27年） ----- 1 3 7

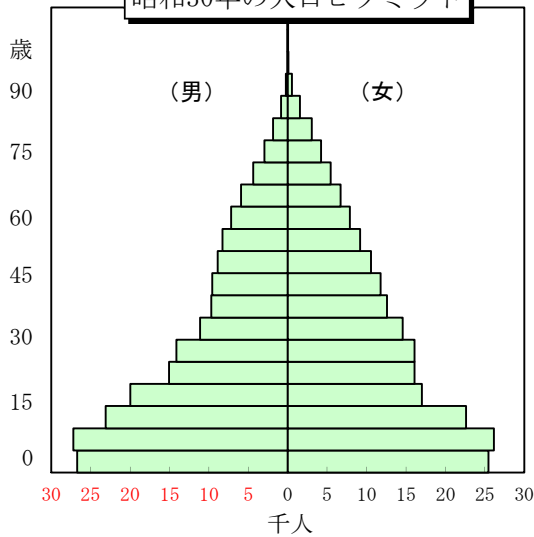
鹿児島県人口ピラミッド (平成30年)



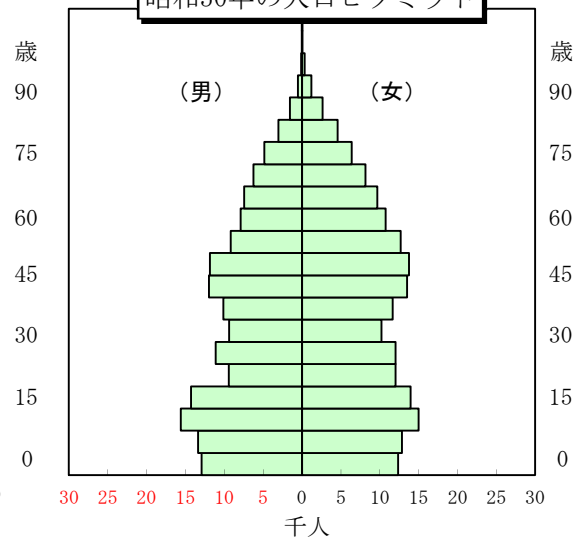
平成30年10月1日現在

総人口	1,613,969人	(男)	758,331人	(女)	855,638人
人口性比	88.6	(女性100人に対する男性の数)			
65歳以上人口比率	31.3%	(男)	28.3%	(女)	34.0%

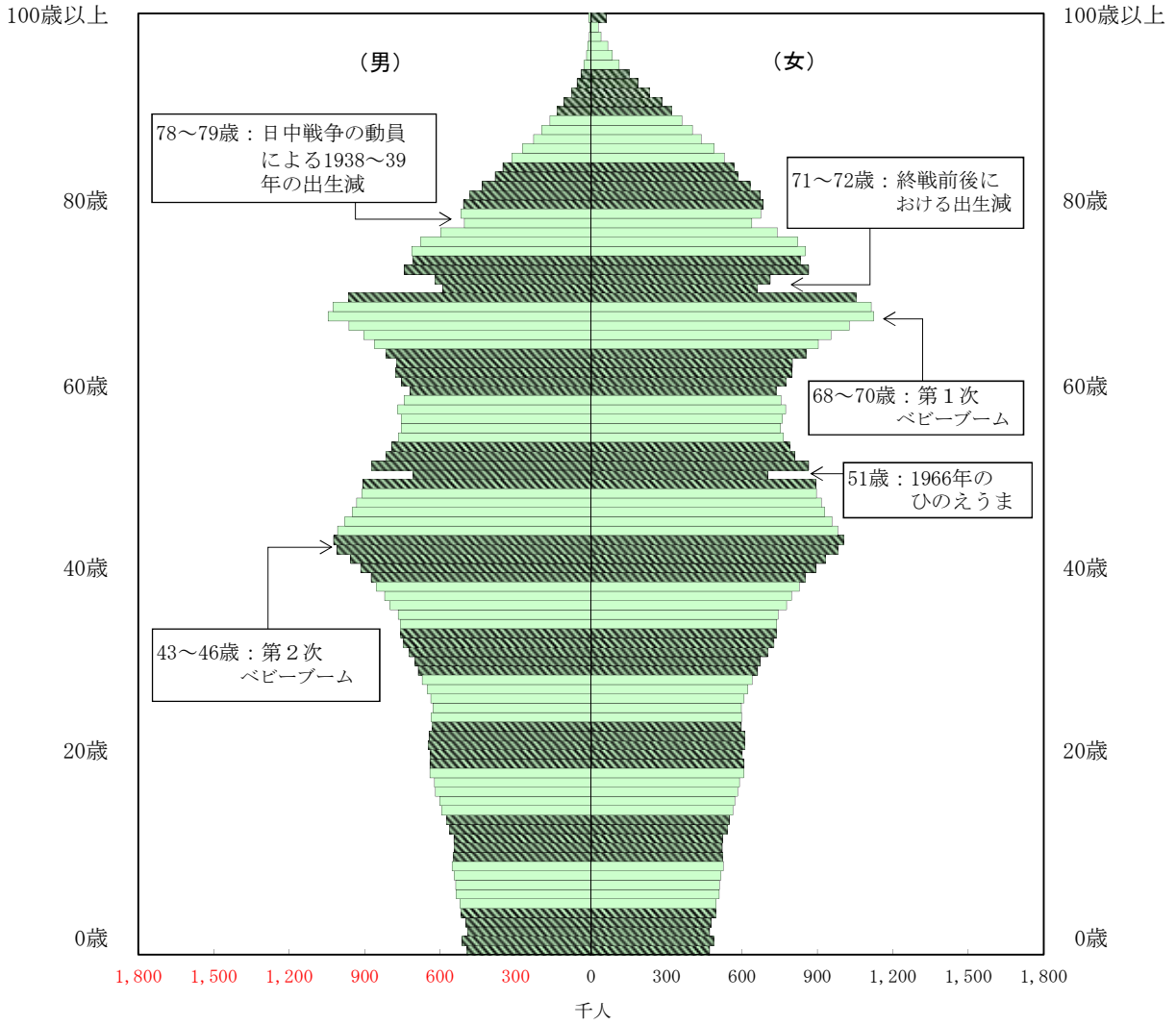
昭和30年の人口ピラミッド



昭和50年の人口ピラミッド



全国人口ピラミッド（平成29年）

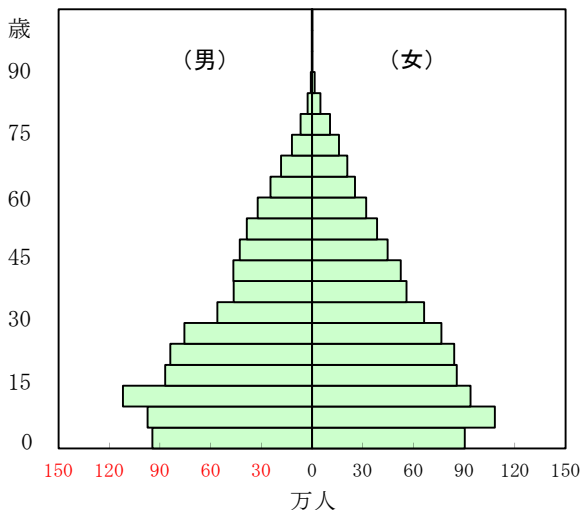


平成29年10月1日現在

総人口	126,706千人	(男) 61,655千人	(女) 65,051千人
人口性比	94.8	(女性100人に対する男性の数)	
65歳以上人口比率	27.7%	(男) 24.8%	(女) 30.6%

資料:「人口推計[平成29年10月1日現在]」(総務省統計局)に基づき作成

昭和30年の人口ピラミッド



昭和50年の人口ピラミッド

